さるか荘の指定管理に関する一般質問　～猿賀公園一帯の観光振興と施設の有効活用に向けて～

① これまでの経緯

- **平成21年度**　指定管理者制度を導入し、公募で管理者を選定。
- **令和5年度**　1年間のみ、非公募で事業者を選定。
- **令和6年度～令和8年度**　3年間、指定管理を予定。
- **令和4年12月委員会での答弁**　「猿賀公園とさるか荘の一体的な利用など、管理運営体制の見直しを進める」との答弁。

② 現状の課題

- 猿賀公園一帯の施設（公園・さるか荘・ふるさとセンター）の運営組織が異なり、観光客目線でのコンセプトに統一感がない。
- さるか荘・ふるさとセンターの稼働率が低い。
- 公募しても応募が1者のみで、競争原理が十分に働いていない。

③ 新たな指定管理の方針

猿賀公園で観光事業を展開する「平川市観光協会」に指定管理を依頼。

平川市観光協会



- 観光情報の発信
- にぎわいの創出
- 民間主体の稼げる観光地域づくりの中核的役割

④ 指定管理の狙い（市長の答弁）

観光協会の企画力・情報発信力を生かし、猿賀公園一帯のさらなる誘客と地域の観光振興を目指す

主な狙い・目的

1. 温泉利用者や地元中心の集客にとどまらず、イベントやワークショップなどを通じて利用者を増やす。
2. 観光協会が指定管理者となり、自主財源の確保と組織体制の強化を図る。
3. 市からの補助金の圧縮につなげる。
4. 市全体の観光振興（稼げる観光地域づくり）に貢献する。

目指す姿のイメージ



期待される効果


観光客の増加


稼働率の向上（食事・入浴・交流など）


イベント・体験事業の充実


地域のにぎわい創出

自主財源の確保（補助金の圧縮）

市全体の観光振興

⑤ 課題と解決方策（経済部長の答弁）

主な課題

1. 新たな指定管理者でのスムーズな運営体制づくり（令和6年4月スタートに向けた引継ぎ）
2. 観光を絡めた利活用の戦略づくり

解決方策

- ✓ 現在の指定管理者から観光協会へ十分な引継ぎがされるよう調整する。
- ✓ 来年度から導入予定の地域プロジェクトマネージャー等の参画を含め、戦略づくりを支援する。

⑥ 議員の意見・要望（葛西議員）



- 稼げる観光地域づくりの方針は理解できる。
- これまでのプロセスに対し、関係者から不満の声が出ていたことは事実であり、改めて総括すべき。
- さるか荘の施設規模から考えると、これ以上利用者が増えるのか懸念がある。
- 観光協会の業務が増えることで、市の観光全体を見据えて活動していけるのか心配。
- 地域プロジェクトマネージャーなど関係者と連携し、市のしっかりしたサポートをお願いしたい。

⑦ 今後の進め方（イメージ）

引継ぎ・準備（令和6年4月に向けて）
- ✓ 現在の指定管理者からの引継ぎ
- ✓ 運営体制の整備

運営スタート（令和6年度～令和8年度）
- ✓ 観光協会による指定管理開始
- ✓ イベント・体験事業の実施

専門人材の活用
- 地域プロジェクトマネージャー等の参画
- 戦略的な観光施策の展開

目指す将来像
- ✓ 猿賀公園一帯の魅力向上
- ✓ 観光客の増加
- ✓ 稼働率の高い運営体制
- ✓ 市全体の観光振興・地域の活性化